

平成 25 年 11 月 20 日

需要家各位

埼玉中央生コン協同組合

理事長 関根 睦己

現状のご報告とお願いについて

拝啓 初霜の候 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は弊協同組合共販事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊協同組合では再開発事業・圏央道・共同住宅等の建設工事に対する納入が旺盛に推移しており、予定の調整において多大なるご迷惑・ご心配をおかけしております。

石灰砕石骨材については急激に逼迫の度合いを増しておりますが、各工場とも可能な限り予定を調整し、骨材不足による打設途中での納入ストップという不測の事態を招かぬよう対応させていただいております。しかしながら、先月より続く更なる需要増大の影響を受けて山元のストックも減少し、調達は一層困難を極めてまいりました。同様の状況が千葉県産の細目砂についても起きており、長期的に続くものと思われまます。今後本格化する大型プロジェクトや圏央道を中心とした需要増については、受入数量を見据えながら予定を調整する必要に迫られ、ご要望通り納入させていただくことが困難となることが予想されます。

また組合員は長期的な需要減に対応すべくアジテータ車の保有台数を削減し、不足分を組合員内あるいはリース会社からの備車等で調整してきましたが、昨今の急激な需要増に対し各工場とも適正台数の確保に苦慮しており、予定組みおよび納入面にてご迷惑をおかけする可能性も想定されます。

需要家の皆様には上記のような緊急事態をご理解の上、早めの打設予定や変更のご連絡にご協力くださいますよう、取り急ぎお願い申し上げます。

敬具

骨材動向

業者動向

栃木県砕石工業組合
生産量: 16,888千t(H24)
(石灰石 6,884千t)
ダンプ登録台数(栃木県)
H8 5,300台 ⇒ H24 2,600台 **激減**
設備
老朽化⇒生産量確保・増産⇒設備投資
要員
要員減⇒要員確保
値上げ交渉
強硬な値上げ交渉⇒年初の要請額確保

埼玉県山砕石協会
生産量: 4,000千t~4,500千t
出荷量: 前年比を上回る(4-10月)
石灰砕石の補完等
ダンプ状況
運転手の高齢化⇒廃業、減車 **激減**
土木工事への流出
設備
老朽化⇒生産量確保・増産⇒設備投資
値上げ
強硬な値上げ交渉⇒年初の要請額確保

需給動向

旺盛な需要供給が追いついていない

栃木産石灰骨材
埼玉産石灰骨材
ややひっ迫状況⇒ひっ迫状況
発注数量以下の入荷数量⇒生コン
入荷量の制限を受ける

埼玉産砂岩砕石
需給均衡状況⇒ひっ迫状況

千葉産細目砂
最近ひっ迫状態に拍車がかかる

価格動向

強硬な値上げ要請および交渉

○平成25年4月から 500円/tの値上げ要請

要請金額の一部を受け入回答⇒4月より遡及値上げ

○平成25年10月から積残し分値上げ要請

安定供給を念頭に受け入れざるを得ない⇒10月より値上げ

○平成26年4月からの更なる値上げ要請(設備投資・要員確保)